

| | 號_ | ナ | + | | 当 | 百 | | 九 | - 00 N - | 第 | | | | | | ĺ | 极 | | - | 口 | | | 魚 | 净 | | | 列 | | | | | 口三 | == | 11.年 | | | Č | | (可) | 忍物 | 灰 垂 | 邓種 | 三尔 | | === | (四) | <u>}</u> |
|---|---|---|---|---|---|---|--|--|---|------------------------------------|--|---|-------------------------------------|--|---|--|-----------------------------------|---|-----------------------------------|--------------------------------------|--|--|--|--|--|--|--|---|---|-----------------------------------|---|---|---------------------------------------|--|---|---|---|--------------------------------------|----------------------------------|---|--|---|----------------------|--|---------------------------------------|--|---|
| 工数百年兒童・養成が日が從来早、中李道和氏が永玉幼稚園・設立が推進・設立の | 幼稚園+祈成義塾 | 同義 | 接許問自勝な司のリロロモモ合力 | 三地 | 1 6 | 誠意をいかい急の幼稚園殿立の着 | 以予高唱が見け金孫百圓を自己が便外幼兒前程の重大も問題が行む | せ徐々の引き可引羅南人民生活形 むそ中本育質業獎勵部長朱禹淳に | 一同そ月里上引叶川五如何の聖中額の資金を要すと問題引の里幹部 | 中幼稚園設立の件の至むのはそ三中幼稚園設立の件の至むのはちゃ | 中国制作外工育等是央義進了中華幹部會議是智育部長金定錫氏私宅 | 容月二十六日号羅一青年合す 村を | 唯一到于 | 百四十六次企二里却正私立普通學 | 基本金一萬圓号合すら一萬四千大圓日補助金斗嘉集も公立普通學校 | 定す五 咨頭月汀里のおそ四千六百 商業會議所のはそ漸次此の統一 「東東京の原見の電話与東右部で指表して東京の場所のはと漸次此の統一 | 三百圓キ支出が災斗記載がまる。 | 中記載が五杏源月汀里の村七三千年里の村七四千六百圓多支田のグ | きのタモロ教原氏小門札を結果金 | 引難が日兩里代表ル各々秘密會談 | 思え 位 と と と と と と と と と と と と と と と と と と | コーサ 日本 一校子設めずと日貴兩 | 心人士曼招待하りせる大なの里咨源月打みる | 出出中心の写の離長が出出中心の写の離長が | 無路課長萩原氏する | 1型観察すい位置事定で動すの合い三層書 | · 張集の中貯蓄が五盤の村金の村と砂築的村金の | 12年11日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日 | 野が呼位置して中省方面が | 四枝多数正型叶叶二里各面外各里 | 公工門道学安 | 着に回し | 武子 二年度 武入 旧预算 | | では、 | | · 、大正十年度事業成績報告 —— | 翌年度繰越金 日八十二圓二十六段 | ŏć | | 大三十七年〇一 | 一、大正十年度决算報告 ———————————————————————————————————— | | 司會呈左記事項世次職司以外 | 州や平澤公立 | 含 | |
| 朴明水,李門在一金景秋,人口生水,許識員李德基。 崔基恒助 医事李淳健 李忠学 山木 | - 出合受害な光太郎 - 肥麻り上が双そ如左がり4 | T数曲可説明から合中の月そ不無巫融組合の必要も海顧里一時間の巫融組合の必要も海顧里一時間の | でで、明合な資金とり直接とている。 | 日午後一時の定期総會を蘇常小県間帯終進行が父令으로去月二十八 | 京義線沙里院金融組合す月や一年の上が成金 | 沙里院金融組 | +金虹瑞氏中の中(鏡城) | の引ゃり塾長ゃ文秉浩氏の五数日重敗士餘名音收容の五熱心数技力 | †設置하五入學難ニ로彷徨하そ見の斗が以上の同教會内の新成義勢 | 一新擴張する雄馬幼兒界の新曙光出な作品が、毎日本の一部園教の | サ全面為食りが壬リよーや別多り即本成四氏小園長の足新任可五娘 | 関係小不徹底が可り今般该数命枚 | 音 幹 音義 | 設計気中可中(仁川) | 係者是招集する右の劉を問題る協 | 川商業自議所の村七衙次此の統一 | 不管中其不利な點の夥多的の此日 | 円作業能率の多大も支障子生を母と統一も双天的の展々照解を生む | 仁川船渠構内の日等助みと勢助者 | 近 一 行 引 計 整 會 記 | 二 一 活 新 一 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 | 船渠內勞働 | 白いは飛躍不已がらり、質州 | 所は安全の東近の数資機を一般が 関は安全の東近の数資機を一般が でいま発度で見れる子供である。 | 発具设置の對하り金二百餘則をおき谷附が五更が今年のそ同校内の | □ 學校の運動器具設備金○豆五百回 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ | 質民救濟計斗社會可同情計の至名 | 596 三元 8万生り二支品草は本山清郡新等而丹溪里の居住はそ郷 | 鄭氏。勸學特誠 | · 将來小有望하中の中(濟州) | 一手され | 山处写视 | 一、振威雅簽蠶組合桑岡品開全餐。 查報告(平澤) | 柳志原 明帝董 四第本職等タニ 中子名 | 果在根本特殊,李翼鍾、白南九卷四条 | 医房卵总型 与俊恭 洪原玉生学教和 尹凰英小林镇敦 三等张 | 古 洪敦集 柳斑粉 山崎源治郎。一部片殷倒 鄭華頌 二等舶酶字 | 逐賞者氏名及誓級 一、模範畬設置 | 7、農具共同購入補助 | 2、印刷物中配付 ———————————————————————————————————— | | 品評 1 開催 | | | 八一氏〇〇〇八十甲支流 | 五九〇〇〇〇(前年度預 | |
| 同時も | と入り終切が後運動會者相撲が少な組頭へ野傳次郎水野態組員五十二億行がユ因が小野態組員五十二億行がユ因が小野態組員五十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二 | 一九時の緊察署構内の母茶季演習等 「開城前防組の母や去月三十日午前 | 育方日等季寅四 | 11.氏管力 | 日気が中診断部の 又受が少し 飲打が少七 中被傷者挙氏 | | 呼訴ヲ爲が | 巡査を郭比斗が氏兩人争難祭署見互相衝突の有輩かが呼立首が少し | 杓氏ル公憤惚の意み無 | 跡作ヨ な條 | かき聞知하五郭 登崙で ベルデ銀 | 介護中で中国の対象の | 中本月二十七日そ小作相助會定期 と 等照弊者小作界の 科之苦痛 すり | 合か工地主不知か七斗料を横領が | とと称ことが事子を引金十段式枚 智昊 第七中間弄給하り股合数中 | 可徵收重學不啻斗其舍音郭纖遠郭和小作人利州地稅并必謀金子無理 | 切移作が正該土地の農作力と失む | 公課命徴收り不應却と小作人も一密陽郡各面り在せ日徐氏を拘殺丼 | 大邱府『居寺や餘佑淳氏『上地外』 | 地主小作人 | 大正十一年九月· | 者一百三十六人ª 發起呈永昌紹介-院城那次土地家屋質買* 何介營等 | 成 写上 | からい(安山) | 大停車集群築で三級百間会 | 大学工芸の第一と発育問題に日本近今代が中京開鍵 | 3日春季戸脱み全部騰騰的で、19日本野戸脱みる田直がもい今1 | 過三四個月四多大社会後の | 近之面內可有力家里科愛! | 5中心消育與不川水消量加及公東/G | 情かや女子勿論の中外中村在社然 四時代の風潮を外外や日下午日春同日 | 面長 | 慈善及公益事業9 1 | は二星一般患者者を氏り慈善手稱しなるという。 | 4叶特别司赞鹃杜思芳七縣科治療 | 村二里卒業 引五右記以所可は開院 一様二里卒業 引五右記以所可は開院 | 多北大邱府明治町三光醫院長金顯 医子宫 (P) 11 01 克 宝宝 | 《 | 7、信仰を下でしていました。 役員手数支給当件 | 。 第十一期 4 第 | り百五十二 | 「改彰中道総典官早訓示小有せ後一本 | 下4 法已作得中央第十段的社会 | 去二十分 | 合總會 | 鳳山金融組 + | 七松尾芳太郎(沙里院) |
| 十四、牟浦洞河干諦、李敬道各四十九龍浦獲本督松、元七田洞中各五八龍河渡本督松、元七田洞中各五 | 19日本學校中學月28日左午日午中共2日本開發的國際五十分中間實計文件以內國際一次中國 | ずが拍手喝釆撃や問節4月連續が破財者星型一千二百名9艘教の建 | 私には、「ないでは、「ないでは、」という。 ないできる いっとが ないでは、これでは、「ないでは、」といいでは、「ないでは、」といいでは、「ないでは、」といいでは、「ないでは、」といいでは、「ないでは、」といいでは、「ないでは、「ないでは、」といいでは、「ないでは、「ないでは、」といいでは、「ないでは、「ないでは、」といいでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、」といいでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、」といいでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、」といいでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、」といいでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、」といいでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、「ないでは、」といいでは、「ないでは、「ないでは、これでは、「ないでは、これでは、「ないでは、これでは、「ないでは、これでは、「ないでは、これでは、「ないでは、これでは、これでは、「ないでは、」」といいでは、「ないでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ | 二時十五分斗司七本社補項支局記司の見前の見前の見ばりの味を破殺刑司五午後 | 9 祝辭小冇並後即時運動會書開催 星録、私立長興學校長李鍾澤諸氏 | 駐在所長、學父兄代表呈鄉圭鎔、崔 △ 中來賓。 足峯山而長,同面繁官 | 長准昌録氏小器般順次を擧行れり無容率大運動会を開催すりとり校 | \$P\$ 中央工作,中央工作,中央工作,中央工作,中央工作,中央工作,中央工作,中央工作, | 真苦者忍耐む刃一個有年の地方 早々努力者不拘하고校舎建築の千辛 | 進の望の多なの呈發起人諸氏や益月地の四八十餘名の近前の離り前 | 11日上して食行しをトキョーリー・ 日本との職者祭集教授を中學生の日加 | 交量设立하立斯上在爱可日方皇中外有志豁氏小盔起하 "私工目新學 | 歩、朴玉俊、金炳峰、尹敏斌、崔昌錄・寺・文のり常地崔杲鏡、崔座鋲、金麗 | 中现今社會斗宛然可隔絕斗感中多 | ユ中耳戯目盲の無理想付の主化する。明子勿論の立敬育方面の對すりを | 関の位置の中一漁村の『呂新舊學』の一漁村の『日本語の『八郎』の『日本語の『日本語の『日本語の『日本語の『日本語の『日本語の『日本語の『日本語 | 日新學校落成式 | 好呼(機械) | ひ後久野組頭の答解を別式하り4 | 間。不平一 | 決也 | 大心歌迎の世界行动の中の中では、 | 作人中村石・周り寅兌のスや炎盛士後多数郡民の川時が風潮が現代朝し | 次川普通學校のA歌迎合や開催むま次川郡の到着すめたり局二時年を17 | 177 - リドナー・オーローですり傷みの水月二十五月午後一時に非道外を木戸以上・オス・高冬 | 当年 事 數 迎 會 | せ経験の有時中の中(仁川) | 可經歷の多時の一般行政上の多大的 | 方列大型支沙芒葉主。 見食要官職 的以そ今年四十二歳9人物のユー本 全 | ガ仁川縣着列車昱赴仕が9そ9同 ディ・歩月二十九日午後六時二十五日 | スモル今般の仁川府尹・夏又移轉して八平安北道財務部長。夏科東も | 『年の仁川税闕長の事務を取扱。』 はまそげれる ぬき ア・エモビデー | 化道财政部 技中磨瓷之氏小粒 化型 跋 | 新仁川府尹赴任 ———————————————————————————————————— | 鄭奎鉉(平徽) | 本泳夏 金禧慶 金灣梅 | 计摄员 李德焕 崖成九 白潤植品外 宋在燁林錫奎 稳尤煤 | 7氏名七如左前の中 記り監事及評議員 王 | 順序を果かみ午後三時頃で閉会の | これが・・・ 次が報告役員給料水認能 へいか・・・ 水がを見れば低い。 ひき 新大 | 自14机全是小系易心中用4件 方二十八日午前十時半日市內部 右 | ·摄北金融机合第五同定時總令+ 」。 17 / 17 17 17 18 18 19 19 19 19 19 19 | 七定业且个息车工 | 大角 | | 選定が少七可組合技士 金秀良。巡り18月間立總會書間が五任員団 | 受すり一百三十六人・発許状十一 |
| 利金をかけは公共事業・補用ない 酒があり遊現すた同時のそ初回の 酒があり遊現すた同時のそ初回の はいまする意味のである。 一般のでは、 一を 一を 一を 一を 一を 一を 一を 一を 一を 一を 一を 一を 一を | お城里の 三禁酒をおれる 古城里の 三禁酒 | ق ا | 院全女史の耶灰苦難歌獨唱の謝頌洞區が會長召集がり足決定が立金 | 叫維持方針王完全ガガリ爲ガル名 張茚ユ入學生者大々的으豆蘇集が | と熱烈も同情の主該學院十一層擴自覺き得から常面長以下有志諸氏に | 5十年と近出憲大・印名中の憲む、中で演題2年大熟辯さ吐む・楊内の氏や関小の整選の教育以書き、東京で | 17、1957、1988、1988、1988、1988、1988、1988、1988、198 | では、「一年」「日本」「日本」「日本」「日本」「日本」「日本」「日本」「日本」「日本」「日本 | 2001年1月1日 - 1980年 - 1887年 - 18874 - 1 | 发动已背中出限者袭會更补非去三、然有耶無耶中の 在前可 日本社浦項目 | カ人士=同情の協助が海影さら伊 | 慶北迎日郡 早髪 岡私 立進明 學院 そこ | 進明學院의 | 模長金相動 總務李 鍾 國 監禁 | 7 | 可工作員多無記名投票三的選引文任 | 夜鶯業報告斗利益金蔵分案+通過17定刻の至う中模長4階分解が有せま | 加砂模員を二十五人の違うのもりに | 在国定期總會爭別推赴中當日出一時半分 市内松峴里 母校内可科 | 7同志稷の 村七客月二十九日午後 | 同志楔定期總會 | で開催が少りの中(釜山) ************************************ | 2局引後援。三綮大司音樂演奏育 新四级悲唱背年育音樂部及本報釜山 | · 備呈總浦公立普通學校內可科卷 印 | 絶浦青年會音樂會 かんしゅうしゅう | (銀南浦) | 《各二国》 金布星 金成集各一国 | (M) | 「誠心女史・李飛禮女史各五五間」 「根献」 姜悲徳 韓章高 高貞漢(8) | (主教婦人會十個) 韓炳柱七間 居 | 別を見行がタモヤ同舎を紹かり百年を見けるという。 | 其他音樂聲の滿心聽來の外與味學 | 349と引及公敦謝場隊の合用 釜の葵架の星始作が中不服が明編 | 正開合群小叉や後同青年會洋樂 稚園内のは音樂會書開か五韓炳 | 月二十九日下午八時早司天主教 陸淮府前男旦公副軍年令主任3 | 公卷下午 0 | F | 中旬49年の此号更可細別が早左 | 虽俵入으로や一萬三千百十六俵 平田七以入으로や前騎斗同様 | 可小麥+四千九百五十二呎+粉豆+三百二十七呎四斗+減料タ | 一斗号白米七三百五石七増やユージオ・プロ五十十 | が明りと外手を大きな音にした 日現在4市内穴銀行穀物在原敷 | 丹在 | 仁川穀物在庫數 | (前項) 「一年東十9年9」 | 于五圆、尹奉燕 十圆、 墨山私立長 「他們、根本斯太郎名二十圓、金學」。 | 文章で持に平て8 Fニア軍で24- 一五四、世風解、池度線、金鷹族、一二 |
| 代職員等も各自の利益中國謀又な(小項)農村振興の関むの大地主で(小項)農村振興の関むの大地主で日の 無の決議が決議がよりりみ 第七月 | 30世代十余重は一方2007と作って淡坂も代談員合議すら既報斗別お全衛農会主催せ各郡地主會代表三 | 總會出主聯合 | 「 | は中国、派炎関節・関立中で、文学開せ件、三、、 端腔會設置・原 | 一、双呼叫相让作二、王直备成行司父子可马 | 左引度字書表がより開合鮮小有も後が合長金字源氏の開合鮮小有も後の子源氏の開合鮮小有も後の | 多食可可定用现象是阴难作为 主息医月二十九日可参山町族館組合事一方 名 条 仝 船 看 | 校 官 且 今 想 了 | で えなこと 新山 同ぐ長さ前を ルージ えなこと 新山 同ぐ長さ前を ルージー アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・ア | 可是英世間 川子是交替安 | 『組織なが任員の氏名や如左がひ日員や同區内の日居住がそ戸主王 | 七日方今會員の七十餘名の即亦四 | 講演會 | 地助な観念の行がいのい(北背) | 少同情の豆將來道路の修繕を一層でおり、見り | 「芥川・リー・デリー・デリットのユーリンド」の一番の一番の一番の一番の一番の一番の一番の一番の一番の一番の一番の一番の一番の | 「補助り爲すい豐山那の金一百圓」「補助り爲すい豐山那の金一百圓」 | 「心」とは「まごろは「大生」、「中山」(「化背惠山間道路沿邊豐山、甲山)(| 成南北首共與株式會社自動車部門一 | | ** 注外は、流動され、存近間以来報告中來實況群立閉合 すり中に | 19 道印事の犯辞小児を炎首各女(19 A) 19 道印事の犯辞小児を支首各女(19 A) 19 A 1 | 関記者等き招待する大松光を呈している。 | の次川神社の日道路開通式を撃ったが、大川神社の日道路開通式を撃った。 | 3川新山川道路保通・本紙の脱粉で | 道路開通式 | (釜山) | 河上採 八号城大の舉行の父の斗 着手が ビリ法月二十九日下午六 | 類中募集中中可及的教室可建築 | 滋力하呼所動せ結果五千餘国の | 「野野、野・坂瀬)」・美田合玉・ | 難の多数兒童や賃が中収容も歩 | 山份 東京 西季院上 探式 水草梁普通學院上 探式 水 | 推開 夏 | 郑朱定基。 書記金成運、張基頓、 香張實權。 哲是奎二李元玉。 財 | 界の | | 四〇〇夜(七川) 《外國白米』、 筒叭五斗入五七叭▲外國白米』、 筒 | 八〇叭▲蕎麥四斗入□、○一五條入五、八三二叭▲蓁七斗入一、○一五 | 九六以五斗入一二三以▲栗七斗 | 三に一覧の表よりだりとし切し、「「」の表は、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、 | 斗入二~叭 ▲大麦五斗入二六三 叭五斗入三三叭六斗入四〇叭七 | □三五技▲株豆 四斗入一九〇 ■プリュン | では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」、「は、」、「は、」、「 | 10、1一三队五斗入1、九七大 | 七斗人 四一三叭▲ 大豆四斗人人 二、六三〇叭 充斗人二一〇叭 | 五斗 八七、六一八叭▲白米四斗 |
| の一泊がユ水月一日總監寺大邱々 地監寺技術の月迎接同件がの東菜寺観察がユ同三十日朝の有吉政務 | 一百年4月二十九十十公易及作为午後签山。 水到市外 鐵道主要早和田新任慶府知事七法月二十八日 | 和田知事來釜 | 那島地主育又七農會の申合かり者と収納後必り莚乾さ行り事 | 乾燥洲製不良む小作物量收納む時光分が此の周知量徹底がな事 | 乾燥調製の對かりそ小作料査定 | 其他方法・豆少かの三五月以内。 格・簔苑(線番・駐畔山麓苑) | いるのでは、 は、 は | 事 中,適地子定租里隻事 | の月三宮施の三号智局の延載なれ、米穀法の依む米の買上き朝鮮 | 中地級の共衆治療法と対す著品 | イイン・ドライン を楽組合の設置又そ金融組合の パ、産業組合の設置又そ金融組合の | 全音を変出せ事 | き表彰を事 の | で 組合資金の融通り監督な事 | E 改良事項の強行を督励な事 脱組合等のは借入る斡旋で事 | L 低利資金者貸付引用中又金 | つ、那及面外密接む連絡を保持。 | 又を援助者を事 - T - 地主を右の異なの方の規則 | 安全の低利融通列を必 | 明昨年目前領州遠社後比曼農業之金二里が中金融組合其他の預入日 | 金の豆制業收入り一部を随時貯りの相割が籾又を其代金を定時貯り | 小) 假年小作料《百分之二内外》 《 | 3、共司拧箭及其瓜利辣道 + 貸與董事 | 州市中山主七比の要なり世際具 | 作品 を引 と聞入以下・近方 、 | コ 米作の改良 ・ 一つ 小作料を期限内納入 | 棚川から左の事項を必行州な事 引 | が キョンドー・シャル 日夜 | 1、輕妄可小作人手變更为外口動一四、輕妄可小作人手變更为外口 | 一、番町小作料・収穫高斗折半以一度 | 女引ルーサー切小作人の外徴程を進守すり一切小作人の外徴 | 、地別其他公果を地主的党の見て、共存共榮主義を高唱である。 | 池三路がユガ斗如が決議耳の日か | 上斗如为然酸二足击战节耳此之然村下少位为夏太时 | サスロ四、甲村所在平土地を乙ユ | 人の一里以上を地上の政府の見る一年以上を地上の政府の一里以上を地上の政府の一里以内を小作一 | 作料七折半式으로함지며[]、七[三]一、小作機士妄動刘랗지며[]、小 例 | が中提議が可能氏を製心の里列設も小作人を | 論の粉々が中特が長城代議員金刃 | 後援 天道教 | 主催 朝鮮日報 | 申请提所朝鮮日報龍井支局事務所 一計 | 1 | 間島學生學 | 現 主 「 | 说话 支 日 诗 中 來五月七年 詩 男 日 一 五月十二 | 身 南 明 自 一 丘 引 上 一 大 一 大 一 一 一 二 一 上 一 上 一 上 一 上 一 上 一 上 一 上 一 上 |
| 朝鲜日報社部者金河龜 | 建粉架 李 聖 教 | 同す解任が立局員す如左變更が少 同す解任が立局員す如左變更が少 からうだないない。 | 社 告 | やいいからしますい 外当さらないかのない(債数生) | 남에게 모욕을당하니아너날이너 | 한축▲분한마음이 머리못하지않 하고 목욕모못하고도로와서성사 1 | ·特··································· | 한국 목욕탕이되나살지경이오목 인적자하나이 쓰시라서빙창용 | 당반인듯하다」 요한시립의소목로 가가입으고 정시이식의한중에 | 는 그 | 昭音二四音十二四音)りで「の父」の一名というというというというというというというというというというには、 これには いっぱい いっぱい いっぱい いっぱい いっぱい いっぱい いっぱい いっぱ | 장, 인무산-이라는밥은불당(哪) | ▲되공잇더니 외마듸소리로한사 | 中国首的各个世界 在二世中的 | · 日 电量中显明率相同则显示部本型者 一季智部之为同事相同 | \$日刊初刊了量目对彰 办好으로 | ·문함부모딱거시▲갓치목욕하는 - | 시안코또는 위수도하지만이 하고 하고 | 55三个 自立章에오더니탈도쏫 17지는자서히 안수입스나목록당군 | 1997二旦基外計号平野州量小村安 | 《音号》(編閱)하交及다그러나일本 | (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) | ○ 100 0 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 | ※ ◆ ◆ ◆ ・ | ②○○ · · · · · · · · · · · · · · · · · · | OOOOO 일본사람의경영하 | (釜山) | 現下釜山の足跡消む線定の4月 連絡船の忠波船が火モリ來十九 探 | 十五分列車豆釜山の水到すり間今 | 行二十六名・本月一日午後七時一筒市道居昌郡主催2日本視察園 | 居昌日本視察團 | 十段式決定もいいのは、海州) | やの資料を目出し、人作をト三川の野板店の名義王殿代書掲示す | 下茶の日日中來七月二十七日子 | 物個小下落耳中勞助賃金可引下 | 日がじい近早た我小多部トラー定開き増加がい四関五十銭の三敗同 | 関五十銭が見及す大股以後エモー本州参山間汽船賃金モ大戦以前す | 釜濟間船賃下落 | 経送りる階離サッサの中(釜山) | 間島青年會 | | 其他が頂も右記載を米間 | | | 版 建) | 丁七、八日(二日間) 一组 | は下午四番マリーサー |
| 朝鮮劇場 | 京城府仁寺洞四篇 陰謀司國 | | 十一篇一變化平劍四卷上以十一篇一變化平劍四卷上以 | 連 館 心 ・ | 愛悲劇愛?死? 全也 | 間上いて의外系 | 本関파トリチェ社映勘 | 第2一三三風光 | 以 | ルラ電電防大薬 原大薬 原 | をヨシシと写立てし、 | リエ同葉諸位七本節注文する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | 定價大一包二十段小一包十段 | 見楽し公正 | 原 法 伝送 | 5年泉位学好前待さ醫師学 整察 | | 道 | 朝鮮日報沃川支局 | | 支局中서金乘完以号外務員兼記 | が解り報題席支属具 | 同 成 載 官 | 配者朴東壽 | がは、金融・亨里を登録している。 | 見郷ルトルー者立州系の英 員郷完秀氏を解任す五局員士卯 | 般本支局業務擴張の伴もの營業 | 期鮮日報平北支局 同門第二日諸位照亮為第二 | 般本支局4月金定源氏4配者里 | 謹告 | 朝鮮日報祉 | 爾門金 商運 | 型 并 金 两 克 克 | を は | 支局位置 水原郡府門外山樓!! | すッハユリ諸位州亮属安 ・ 州任 可立局員及位置于如左選 | 社水原支局長金進瓜氏及局員一(c) | 新 第 第 百 第 和 元 3 | 支局長 計 生 1 | 支局位置 唐祁那唐祁面邑内里 木 | 選定が中業務号衝船がエリ諸位 英州古紀後で支援を設置が12月12日 第 | 朝鮮日報社等 | 朴容來 | 即四 男 泳 善等 | · · · · · · · · · · · · · · · · · · · | 安局長鄭泰永郎 | 7局負士組左襲更がサルエリ路(時) |
| 特別 優美 館 | 新りり 新篇篇 恐怖も宮殿 一条十八篇三十六 月 一探偵 三氏 おか 月 | 2日分字之類主演 生不中別氏 主演 | 第三回 第六篇 深夜早襲擊 | 顧呪의毒矢 至世 | ラー ラー ラー ラー ラー・ラー・ラー・ラー・ラー・ラー・ラー・ラー・ラー・ラー・ラー・ラー・ラー・ファイト・ラー・ラー・ファイト・ラー・ファイト・ファイト・ファイト・ファイト・ファイト・ファイト・ファイト・ファイト | 帰に対して、一人の一人の一人の一人の一人の一人の一人の一人の一人の一人の一人の一人の一人の一 | 天三 引 4 舍氏主演 | M 巫—君의活躍 — | 不與予社 全 一 卷 | 鹭獨逸艦隊。引渡 | · 五月二 1 早 1 新映 | 遇仙器主自 | オプリグ 著説 里 | 卜 斤 米 | 節月 | 日爱虱印 空氣折样 | 医 | Д | 灌 文化 書館 | 京城慶繁洞三十六番地般書籍の無漏具備 | 傳記、小説、語學、尺牘、地圖等諸の外外各種教科書及其參考書經學 | 足角六十五碳 唐州送科十一钱 山新 巡查看守受驗礙書 | | 当受 (| 台: | 定價 三十段 送料 四级引 | 上段 一个 全 经料 六级 雜 | 日 解 新 玉編 · 日 和 市 和 市 和 市 和 市 和 市 和 市 和 市 和 市 和 市 和 | 上 選 朝 解 語 法 | 六 | □ P 通學校生徒用新式辞典 [4] (十二)、《/ 2) 2 料 二 錢 [6] | 元・十、十、)、定價毎冊世銭 2015年 図 語 譜 本 詳解 3 | 「大、七、八卷) 定備在冊十銭 G(大、七、八卷) 定備在冊十銭 G(大) | | (五、大 卷) 定價每冊十錢 (6) | 朝鮮 (四月) | 、11卷)定位三十五段送料四段(GL小學 共一班)自一个宣言 | <u>.</u> | 是 | 定價七十五线 送料十一线 | | 14471143月1277年11478年1147日127日127日127日127日127日127日127日127日127日12 | | すり現時思想の適感が立時代はすり現時思想の適感が立時代は | 序込り中銘之肺腑り・豚佩不已 | F 4 開棄せ以来で業務パラ以月 | ・場系之際で同胞兄弟当会 会所 |
| 一種格の極限な | 中国 中 | :最新式 | 全鮮總販賣 | 朝鮮ユテ丁 | 京城風 | | 工場可以及25年 | テリカリのイン | \ | 名写月 | 整器専門商の | 京城 鍾路 五丁京城 鍾路 五丁 | (重音)二個罕錢 (復音)五 個(復音)二個廿錢 (復音)四獨字段 | 復音)四四 | 《單音》一 圓(單音)三圓手號(復音)八 十 錢(單音)三 圓手錢 | 軍者 (三國 | 學生唱歌練習用やエド小部 | 第一金額 | | O O | 記記 | 根据 | 本 | でも子 | いや途中から投供すイドマ | 、は有名な短輪では四時も奇头使むい腺慣を販覧する「深愛すり斗」試 | c 星家筺4公交 サユミ辻育り公式が取合4忘却が五満雅む趣味が | 信用台外子可子 胃毒多能可必要 | 90000000000000000000000000000000000000 | 本館貿易東 | 別籍分叶八五試用井八五確實委 関籍分叶八五試用井八五確實委 | 小子科、丹香、八里、石川等、土小の日本題館(日香、西谷、川京香、山京香、山京香、山京香、山京香、山京香、山京香、山京香、山京香、山東、山東、山東、山東、山東、山東、山東、山東、山東、山東、山東、山東、山東、 | ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ | る。 | - P | 居家のピス旅行のピア旅行のピア | 製造は経済のそれない。 大田大田 はにはは経済のそれない。 「日本、日本、日本、日本、日本、日本、日本、日本、日本、日本、日本、日本、日本、日 | の集を古来る遺跡がは有名な様 | 言い東金が | の何の健胃康臓がや自 | [] | 順 | 小兒科 花柳病 | 内外针 旋瓣人 | ○(入院随意) | | 耳鼻科 リ 門 記 |
| いるリマ (地方引換化・サイン・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | 心の手では変造可を放え、海側の手では変換している。 | 改良靴を求か八出 | が成べて当まれ | 場に言 | 路一丁月二十八番地 | | 真収製サー へ生物の調整が選当で 諸般各様式 みや靴 | 下作序笔书列 登鶴月列版 自作自給斗 精神子 取一 | | Ì | MS商會 | 十段四階 | 三二 | 华平 鏡 砂 砂 砂 砂 砂 砂 砂 砂 砂 砂 砂 砂 砂 | 十 2 2 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 | 一一號三十五錢 一號三 | | り小自智酬→實数三提供→■額⇒先送するエ月 | 時刊三分 | | | | | 仝趣味量得하라モ人 | 打せ ・ 3 対 ・ 3 世) から | 用が小を 切りこり小り早を用がりませる。 関い はいいい はいいい はいいい はいいい はいいい はいいい はいいい | 文·中央日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日 | + | 1999999999999999999999999999999999999 | 解 | 一十二番地名の東部町から | "母子"一件神商村工斗 | 一次皆處可貼付非可如何也 | 小小女性 第1 | | 7日常準備が79 | 日本の古の古の一本の一本の日本の一本の一本の一本の一本の一本の一本の一本の一本の一本の一本の一本の一本の一本 | から元中院神九月材料 足 門 | 地位 * 中包二十個人 十 。 大包六十個人二十 | 中身世の健康を圖する | | 大一窓西心 | 無 | 计多级 建 社 够! | 祖 超一大九 | 月 医 | 1961 というという はんかん はんかん はんかん はんかん はんかん はんしょう はんしゅう はんしゅう はんしゅう はんしゅう しゅうしゅう しゅう |